

# 京都コースからの7がみ



2022年12月発行  
第83号

〒607-8218 京都市山科区勤修寺御所内町64-3  
深草こどもの家 勤修寺園舎  
TEL:075-641-8280 FAX:075-642-8588  
メールアドレス: mc.kyoto@theia.ocn.ne.jp

## 峡南幼稚園九十年の歩み

峡南幼稚園 副園長 徳田 和子

峡南幼稚園は、今年創立九十年を迎えました。本園は、四方を山に囲まれた山梨県の南に位置し、人口約一万四千人の富士川町にあります。

昭和初期になるとカナダ・ミッシェン婦人伝道部が山梨県下でも婦人や幼児の為にキリスト教に基づく教育や保育などの活動を積極的に繰り広げるようになりました。一九三二年（昭和六年）には、宣教師ミス・マクラウドが中心になり富士川町（旧増穂村）でも、農繁期に子ども世話を困っているのを見て無料の託児所が二ヶ月間行われました。子ども達は日ごとに増え八十名までにふくれあがったこともあり閉鎖された後も、幼稚園を希望する声と共に教会と幼稚園に土地を寄贈する篤志家も表れました。そして、翌一九三三年（昭和七年）園舎が完成すると同時に、山梨県の認可を受けて開園の運びとなりました。戦時中は、疎開の子ども達を無償で受け入れて園児数は増加したものの、その後は町立の保育所が開設される度に園

児減少となつて、廃園の危機に遭遇して行きました。

創立から四十四年後一九七六年（昭和五十一年）教会と幼児教育への召命を受けた牧師である夫と共に当地に引越してきました。

そして紆余曲折を経て一九八二年（昭和五十七年）学校法人峡南学園を設立し、翌年築五十年の老朽化した園舎を建て替えることになりました。その契機になった一つは、統合教育でした。私は一九六九年（昭和四十四年）から、都内の私立幼稚園で特殊クラスの担任をしていた経験から、本園でも肢体不自由、弱視、難聴児を受け入れるインクルーシブ教育に取り組んでいました。一九八二年（昭和五十七年）文部省（現文部科学省）の依頼から「幼稚園における心身に障害をもつ幼児の指導事例」（フレールベル館より発行 昭和五十八年）を執筆したことです。本園の統合教育の実践が九例の中に加えられたことが唯一の励みになりました。

もう一つは、私たちの教育理念に賛同した在園児保護者である工務店主が園舎建築を申し出てくれ、そのはからいも大きな転機となりました。更に保護者も寄付集めや大バザーなどをして協力を惜しみませんでした。このようにしてモンテッソーリ教育理念とする定員百名の新園舎が完成したのです。

### モンテッソーリ教育導入への道のり

赴任した当時の保育形態は年齢別一斉保育で、運動会、発表会等は本場に立派にやりこなす子ども達でしたが教師中心であったため子ども達は一つの活動を終える度に「これでいいですか」「次何するんですか」と代わる代わる聞きにくる子ども達でした。大人の指示に子どもが合わせていくのが日常の生活ですから、依存心が強く自主性や主体性に課題があるように見えました。自分の意志で決めて動ける子ども、そして自分を信じて生きていける人を育てていきたいと願う思いが強くなりました。これまでの年齢別一斉保育に疑問を持っていたこともあって次第に保育形態の見直しを考えるようになりました。

本来の子どもの願いは「ひとりで出来るようになりたい」のです。そしてそれは

やがて主体性を持ち、人生を切り開いていく力になるはずでです。このようなモンテッソーリ教育思想を保育現場に取り入れたいと熱い思いがわきあがってきました。子どもは、環境から吸収し自ら成長する能力をもっていること、そして子どもは活動に集中することによって、その人格が変化し「新しい子ども」になると、これらのことを考え何とかモンテッソーリ教育を導入したいとひそかに願い機会をうかがっていました。しかし、保育形態を切り替えることは教師と保護者の意識を変える必要があります。日本では容易ではありませんでした。日本で初めて上智モンテッソーリ教員養成コースが発足した一九七〇年私は一期生として学びました。実践科目は赤羽恵子主任、松本静子先生、松本尚子先生が担当し、その授業からは、子どもは大人が「教え導く」ことでなく、「適切な環境の中で自己教育を行えるよう見守ること」である。と百八十度教育観の転換が必要でした。しかし、実習園での体験と同時に担任していた障害のある子ども達がその子なりにいきいきと生活することを目の当たりにした経験は、子育てによる十年間のプランクがあっても尚その思いは変わることはありませんでした。

教育方針をモンテッソーリ教育に切り換えて四十年になりますが、一人では困難で協力者が与えられてはじめて可能だったと振り返って思います。上智モンテッソーリ教員養成コース同期生の板東先生には、山梨在住の時は勿論ですがその後も教師研修や環境構成などに協力を頂きました。今でも色々相談させて頂くことは、心強いものです。赤羽恵子先生や元熊本聖母愛児幼稚園の細井シスターからも中古の教具を頂き助けられました。

### 旧園舎の中でモンテッソーリ教具に取り組む

三つのクラスに隣接した中央にあるホールを、レンガに板を重ねた棚で区切りしました。地元の高校で不用になった机や椅子の高さを調節してペンキを塗り洗濯や手洗い、花の水切りなどの机やサイドテーブルに活用したことが思い出されます。生活やごくわずかな感覚教具でしたが、それでも出来るだけ魅力的になるよう環境設定をすると、子ども達は年齢別一斉活動の合間に、嬉しそうにホールにやってきては、切り紙、縫いさし、メタルインセットの連続模様で夢中で取り組んでいました。子ども達は、教具教材のほんの一部しか経験していないにも拘わらず、集中して取り組ん

子ども達の中に満ち足りた落ち着きと積極性が生まれるなど、子ども達にはつきり変化がみられるようになったことは驚きでした。モンテッソーリ教育環境としては十分な状態ではなかったはずですが、それでも子ども達は、自分の興味のあることを自分で見出してこつこつ行うことに喜びを感じるようになっていました。

### モンテッソーリ教育に理解を得るため

保護者をはじめ、町長、教育長など主だった人にモンテッソーリ教育の素晴らしさを伝える為、教具を持参して説明し理解や協力を仰ぎました。また、団地の集会場等で未就園児保護者を対象に、幼稚園のパンフレットや園児の生活の様子をスライドで紹介し啓蒙を行いました。



### 新しい園舎と縦割り保育

新園舎建築に当たり、モンテッソーリ教育実践のためには、子どもサイズの設備は勿論、出来るだけ本物の材料を用いるようにし、床板、腰板も檜の木材、赤松材を使用し部屋に落ち着きのある雰囲気醸し出せるよう考えました。実際に実施園の見学や京都コースの先生方にも助言を頂きました。

園舎完成と同時にモンテッソーリ教育を導入し、三、四、五歳児の縦割り保育形態へと完全切り替えに踏み切りました。

### モンテッソーリ教師養成

モンテッソーリ教育は教師の養成が鍵になります。園内研修だけでは不十分であり、京都モンテッソーリ教師養成の基礎コース一年の課程に送り出してはいましたが、理想とする子どもの姿に近付くことが出来ませんでした。それでもモンテッソーリ教育をしている園だと知って町外からも入園してくる人が増えていました。その期待に応えるためにも厳しい財政状況でしたが、新卒の教師を京都の専門コース二年課程に送り出すことにしました。

次第に教師たちは子どもの成長する姿に手応えと喜びを感じるようになりまし

た。これは子どもの心を理解し、子どもが自ら育つ力を信じられる先生に変えられていったということなのだと思いました。

教師たちは教具の練習や教材作りに取り組み、年間行事やその内容を見直し、一日の生活の流れも行事等の練習で変更することなく一年間が安定して過ごせるように練習は午後の限られた時間内で行うなどとなりました。また、保護者へ理解を得る為の説明もしてきました。これは子どもが安心し、心を落ち着けて心ゆくまで自分の生活が出来るためです。

### キリスト教保育

こどもは神様からの祝福のしるしです。私たちは神様からこの大切な子ども達をお預かりして毎日心を込め思いを込めて共に生活していきます。子どもにとって、は、神様から愛されている自分であるということを知り、目には見えない神様の存在を心に思いめぐらせるようにとそんな願いをもっています。

### 統合教育

発達障害をはじめ何らかの障害をもった子ども達が増えてきています。インクルーシブ教育は必要にせまられているので

すが、障害児教育からスタートしたM・モンテッソーリの教育の技術や環境構成が役立つのではないだろうか。更に縦割混合クラスは、障害がある子どもの能力差が目立たないこと、また健常児も障害のある子どもを受け入れやすいことや、障害のある子どもも抵抗が少なく適応しやすいように思われます。子どもが豊かに育つためには年齢差や性別、強い人弱い人、さまざまな人と生活することが重要なのだと思います。

障害を抱えた子どもが、モンテッソーリ教育を体験することから行動にまとまりが出るなど、育っていく姿があります。モンテッソーリ教育の意義をとらえ直しながら今後も取り組んでいきたいと考えます。

## 父母の会

昭和五十一年より毎月父母の会が行われています。子育てに迷われている保護者が、自信を持って子育てが出来るように目標を持って行ってきました。特に核家族化が進むと、情報に振り回され、子育てについての問題はさらに深刻化の一途をたどっています。近年、虐待の報道が多く大変な時代を迎えています。園として子育ての

参考となるような内容を検討して、父母の会をこつこつ継続してきました。

## 子どものふるさとであり続けたい

幼児期の環境はその人の全生涯にわたって大きな影響を及ぼします。子ども達は整えられた環境の中でありのままを生きられるようになると、安心して自分を創るため集中して活動が出来るようになります。すると子どもの中に意志の力が育ち他者を思いやる優しさも身に付けることが出来るのです。

そのような子ども達はやがて、自ら生活を豊かにし、生きる喜びを感じていくのでしよう。これからも私たちは、私たちの教育の創始者であるM・モンテッソーリの思想を受け継ぎながら、子ども達一人ひとりが将来を礎く力を発揮するためのお手伝いが出来る幼稚園であり続けたいと思います。

これからも峽南幼稚園が子ども達の『ふるさと』であり続けたいと心から願い、今までの歩んできた九十年を土台にして更に真摯に歩み続けて行きたいと願っています。

## 創立九十年記念

### 「峽南幼稚園の歩み」を読んで

京都モンテッソーリ教師養成コース

委員長 岡山眞理子

まるで木洩れ日のように穏やかな暖かさが漂い、先生方の愛情に包まれ、幸せに満ちた子ども達が園庭を駆け回っている。そこにはゆつたりとした時間が流れている。「九十年の歩み」を読み、このような峽南幼稚園の姿が浮かびます。

卒園生の保護者の寄稿文、二つの例を紹介します。

一、そのお母様は長女の入園先を選ぶために、本人と妹を連れ峽南幼稚園へ見学に行かれました。園庭に入ると数名の子ども達が「こんにちは。一緒に遊びましょう」と娘さん達を誘い遊び始めました。子ども達は紐で引っ張る乗り物ごっこをしており、急発進、急停車をするとバランスを崩し危険なことをよく理解しており、娘さん達の安全を気遣い、まるで先生のように上手に遊んでおりました。再度見学を訪れると、この前と違った子ども達が「一緒に遊びましょう」と言っ

娘さん達を誘い一緒に遊び始めました。お母様の驚きは、一回目の見学で出会った子ども達が偶然優しい子ども達ではなかったことです。お母様は「なんと素晴らしい子どもに育った園なんだろう」と驚き、感動の思いで我が子もこんな優しい子どもに育ってほしいと願い入園を決意されました。

皆様はこの寄稿文を様々な思いで受け止められたことと思います。決してお客様の対応を抽象的な言葉で教え込まれた子どもの姿ではありません。私は児童精神科医の佐々木正美先生の言葉が思い浮かびました。「優しさを知らない子は、人に優しくできない」「この言葉の逆は「優しさを知っている子どもは人に優しくできる」他の言葉に換えると「愛されている子どもは人も愛することができる」私は今までこのような子どもの姿に出会うことがありません。お母様は峽南幼稚園を「心の軸を作ってくれたあたたかい場所」と表現されております。

二、子どもさんが重い聴覚障害と低身長症であるお父様の寄稿文です。

入園を悩み迷っておられました、園

より「障害のある子と学び生活すること  
で障害のない子どもも成長できる」と言う言葉に励まされ入園を決意されました。年少の頃は週にろう学校四日、園一日、でしたが、年長になると、ろう学校三日、園二日とほぼ半々に通えるようになりました。卒園が近くなった頃、ろう学校と園の卒園式が同じ日であることが分かりました。園は「卒園式の前日の練習の時に卒園証書を渡すので、お父様もホールにお越し下さい」との提案をされました。当日子どもと登園され、お父様はホールで練習が始まるのを待つておられました。すると、練習の日であるにもかかわらず、先生方が美しいスーツに正装し整列され、園長先生も荘厳な式服で入場されました。お父様は大変驚かれ、その時の気持ちを「練習とは思えない空気に私は息を飲んだ」と書かれています。

私もお父様と同様に驚きの思いと同時に、日々一人ひとりの子どもを掛替えのない存在として大切に受け入れられている先生方にとっては、ごく自然に決められた振る舞いのように思われました。卒園児一人ひとりが証書授与の練習をし、子どもさんの番になりました。園長先生

は大きめの声ではっきりと口型を見せて証書を読み、子どもさんの長所やがんばったこと、これからもみんなが見守っていることを話され証書を渡されました。証書を受け取り、しっかりと動作で席に戻る我が子の姿を見て目を熱くされました。一人が大切なのです。

### 卒園生の寄稿文を読んで

寄稿文を読み進めていく内に全ての卒園生に共通するあることに気付かされました。それは、幼稚園時代に自分が大切にされていたこと、先生方の優しさと愛情に包まれて育ったことが体に染み渡り、精神の奥深くに定着し、大人になったその人の今の人間形成がなされていることです。このことは深く尊いことです。峽南幼稚園には、モンテッソーリの言葉「忍耐、謙遜、愛情」が満ち溢れています。京都コースの実習園である峽南幼稚園に一人でも多くのコース生が足を運んでくださることを願っております。



## 学校法人化プロジェクト

### ご寄付のお礼と進捗状況

深草こどもの家と京都モンテッソーリ教師養成コースの存続をかねて、学校法人化プロジェクトを開始しました。日本でも多くの方々にモンテッソーリ教育が広まり始めたのが数年前。SNS上でもモンテッソーリ教育についての情報が飛び交い、書籍も多く並ぶようになりました。

私たちは一体、何を目指しているのでしょうか？

赤羽恵子がモンテッソーリ教師資格（ディプロマ）を取得し活動を開始してから、来年で六十年になります。赤羽はモンテッソーリの教育内容を確実に実践するために、「深草こどもの家」を創立しました。「こどもたちにもっと自由を！」責任の伴う自由。こどもの力量によって広がる自由。自立とは自由の獲得です。他の人に依存せず、それぞれが互いを尊重しあい、自分で自分がしたいと思うことができる生活を目指します。深草こどもの家は四十年以上かけて理想の環境を作り成長を続けてきま

た。おかげさまで、認可幼稚園（学校法人）申請へ向けて今、大きな変革の時を迎えております。私たちはこのプロジェクトを「大切な教育を続けていくために欠かせない活動」として日々励んでおります。

二〇二二年十一月末日現在、総額43,780,358円（公益財団法人京都地域創造基金と準備会への直接のご寄付の総額）のご寄付が集まっております。ご支援くださった全国の皆様にも心より感謝申し上げます。

これまで四十年以上存在した私たちの理想の深草こどもの家の園舎を「限りなくそれに近い形で再現したい」という強い願いと共に赤羽が私財を投じて二〇二〇年に始まった建築計画は、「これまで通り大岩山の麓の丘の上に園舎を建築する」という計画でした。それには大きな擁壁が必要になることがわかりました。さらにその後には社会情勢が変化。コロナ禍とロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け建築費が高騰したことにより、二〇二二年現在、この計画はとても現実的ではないとの判断に至りました。しかしこれまで培われてきた深草こどもの家と京都コースを無くしてしまうわけにはいきません。この教育を継

承することを実現可能にする手段を具体的に検討しています。平らな土地に園舎を建てること、他の学校法人傘下に入り学校法人化を実現させること、閉園する園と交渉することなど、様々な方面へ働きかけております。ご報告できる段階になりましたら、改めてお知らせいたします。

#### 【モンテッソーリ教育財団（ドイツ）の協力】

赤羽恵子はモンテッソーリ教育に出会った、ドイツ・モンテッソーリ協会と長い間かけて信頼関係を築いてきました。長谷川美枝子が続いて渡独し、この六十年近くずっとドイツとの友好関係は続いています。今回ドイツの先生方も大変心配し、ドイツの財団へ日本のモンテッソーリ教育実践園を助けてほしいと呼びかけてくださり、プレゼンの機会を与えていただきました。さらにドイツ・モンテッソーリ教育大会でも呼びかけてくださり、現在ドイツ国内のご寄付を受け付けてくださっています。また、深草こどもの家の映画「いちばん良いものを子どもたちに」にドイツ語ナレーションを付けて只今インターネット上で公開しています。ドイツの皆様にも心より感謝申し上げます。

## 【深草こども家の近況報告】

今年の六月に旧園舎からの引越しが完了しました。法律の壁は厚く、赤羽恵子が人生を懸けて守り育ててきた環境、園舎を取り壊さなければならなくなりました。それは私たちにとっても受け入れがたいことでした。引越し前には旧園舎をたくさん卒園生、保護者の方々、コース卒業生の方々が訪れてくださり、当時の思い出話や、現在の皆様の近況をお知らせいただけただけで、学校法人化へむけて励ましのお言葉を頂いたことが何より私たちを勇気づけてくださいました。ともにお別れの時を過ごしてくださった皆様、ご連絡くださった方々有難うございました。幸いなことに、引越し先は深草から車で五分の距離、園バスのルート内のところですよ。深草に比べると園庭も室内もとても狭く感じ、どうなることかと心配しましたが、室内環境は深草の保育室そのままを再現し、園庭はせまくても成長過程にあるこどもたちが身体をたくさん使って遊べるようにと遊具を工夫して設置しました。毎日どろんこになって遊んだり、登ったり、走り回る環境になってまいりました。深草からつながらる山の反対側なので、ここも生き物が

たくさん訪れます。また、つい先日竹林のある裏山の一部を無償でお借りできるとになり、只今整備に保護者の方々がお力を貸してくださっています。どんな遊びが今後展開されるか、またご報告させていただきます。

## 【京都コースの近況報告】

京都コースの授業については、引越し最中は京都市内の復活幼稚園をお借りして無事に乗り切ることができました。復活幼稚園の先生方、お世話になりました。ありがとうございました。

現在、専門コース一〜二年生の授業は勸修寺園舎にて滞りなく行われております。オンラインで好評だった、手元を映すカメラも使いながらの授業ですので、より分かりやすいと思います。基礎コースでも、今年是对面の授業を実施することができました。会場園の藤幼稚園（札幌）、聖パトリック幼稚園（東京）、若草保育園（福岡）のご協力に感謝申し上げます。深草こども家（勸修寺園舎）の参加・見学実習に関しては、深草園舎のような見学席がありませんので、一日四〜五名の受入しかできずご不便をおかけしております。また、他の

参加・見学実習園にはご負担が多くなり、ご苦労をお掛け致しますが、しばらくの間、多くの実習生受入にご協力をお願い申し上げます。

## 【二〇二三年へ向けて】

今年には園舎引越しと、勸修寺園舎の整備活動、子どもたちの生活が滞りなく、「よい生活」を続けられるように、ということに精一杯力を注いでまいりました。旧園舎解体作業の準備もあり、今年には学校法人化への活動になかなか取り組むことが出来ませんでした。来年は、京都コース創立五十周年記念の年でもありますので、力いっぱい、学校法人化へ向けてご理解が広がるよう、様々な方面で働きかける所存です。引き続きどうぞご支援をお願い申し上げます。

学校法人設立準備会代表 根岸美奈子





皆様、大変ご無沙汰いたしております。お元氣でお過ごしでしょうか。時折、会費の納入などでご連絡くださる会員の方々のメールやお電話でのやり取りも、お顔を拝見していないのに何故か嬉しく、懐かしい思いすらいたしております。いつも温かくお支えくださり、ありがとうございます。

今年度は色々な園の保育や行事も元に戻していくことができ、子どもたちと充実した毎日を過ごせることに感謝しています。

す。コロナ禍での日々は、苦しく辛いことも多かったのですが、そのことに負けない強い心や工夫する力、新たに生み出すことへの喜び、小さなことへの感謝…等々…学び、頂いたことも多かったように思います。この三年間のコース生の苦勞、講師の先生方のご尽力を思うと『学ぶ』ということが続けることの大切さもコースが示してくださったように思います。

さて、先日嬉しい知らせを頂きました。来年度、夏期講習会を七月に再開してくださること、コースが五十周年のお祝いの年であることを伺いました。卒業生である私たちも久しぶりに集まり、ご一緒に学び、お祝いたしましょう。また、深草子どもの家の学校法人化のプロジェクトもコース卒業生として引き続きご協力をお願いいたします。今回、わかば会会費の振り込み用紙を同封しております。会費納入のご協力も合わせてお願い申し上げます。なお、学校法人化のご寄付の口座と、わかば会の会費納入の口座は別々ですのでお間違いないようお願いいたします。

わかば会 会長

滋賀力トリック学園 聖母幼稚園 園長

井上美幸

## 〈 2022年度の会費の納入のご協力をお願いいたします 〉

### ◆会費納入について

#### ◎振込先

02 東京 00150-9-82053  
京都モンテッソーリ教師養成コースわかば会

#### ◎年会費：

1,500 円

※ 長期滞納の方は再入会金 1,000円と  
2022年、2023年の2年分 計 4,000円  
をご送金ください。

#### ◎問い合わせ先

わかば会 井上美幸 聖母幼稚園  
〒520-0802 滋賀県大津市馬場2丁目6-62  
TEL 077-523-0480  
FAX 077-500-7749  
Eメール: seibo-nike@dune.ocn.ne.jp





## 2023年のお知らせ

- \* オンラインイベント「今、子どもに一番大切なこと」～乳幼児から児童期までの4人のモンテッソーリ教師が語る～を6月4日(日)に開催! エンジェルズハウス研究所所長の田中昌子先生、モンテッソーリ・ファーム代表のあべようこ先生がご協力くださる学校法人化プロジェクト応援企画です。深草こどもの家園長根岸美奈子、主任長谷川美枝子の4人でお話させていただきます! お楽しみに!
- \* ドイツ・モンテッソーリ協会の先生方にご協力いただき、京都コース50周年記念オンライン研修会を計画中! お楽しみに!

### 日本モンテッソーリ協会(JAM)近畿支部主催 研修会のお知らせ

日 時: 2023年1月9日(月) 9時45分～12時

講 演: 「集中現象と実行機能」

講 師: 大原青子先生

国際モンテッソーリトレーナー(0-3)、福岡エミールこども園 園長  
オンラインで開催します。申し込み期限: 2023年12月16日(金)

参加申込は、近畿支部長の瀧野正三郎神父様までお願いします。

瀧野神父様メールアドレス: s.takino@nifty.com



友好学園

## 「こどもの家」 集団便り

(京都コースで研究開発された教材の販売部)



**出席カード**… 京都コース赤羽恵子が考案した「時の概念」「歴史」を伝える出席カード。

一日、一日が歴史をつくることを子どもが感じるように作られました。

一年間の出席カードをつなげると、365日を実際に目で見て体感することができます。

色は「一年の教具」にリンクし春夏秋冬を表現しています。

タイプA: 2023年の土日祝日を記載 / タイプB: 通年使用可(土日祝日の記載なし)

「月・日・曜日の歌」と共に、愛され続けています! こどもの家集団オリジナル商品



出席カード1セット(1年分のカード10人分)  
税込み価格 A: 4,752円、B: 4,510円)



4月～3月までつなげて見えます



月・日・曜日の歌収録CD 税込み価格 2,800円  
楽譜 税込み価格 780円



**ご注文はFAX でお願ひします。 FAX075-645-4181**

注文先・発送部: 〒 612-0838 京都市伏見区深草神明講谷町 2-4 URL: [www.montessorimaterial.jp](http://www.montessorimaterial.jp)



- 編入試験 … 2023年2月25日(土) 10:00~17:30頃まで  
基礎コースからの編入希望者は2023年1月25日(水)までにお申込みください。  
※申込書の必要な方は事務局までお問い合わせください。

○卒業式 … 2023年3月11日(土) 15:00~

対 象:2021年度卒業生(コロナ禍のため、2022年4月・5月に卒業試験実施)、2022年度卒業生  
※実習が終わっていない方は早めにすませてください。

場 所:深草こどもの家 勸修寺園舎

☆翌 日 … 2023年3月12日(日) 9:00~15:00「モンテッソーリの歴史教育」

講 師:根岸美奈子、長谷川美枝子、徳田諭

※卒業生は全員出席のこと。

○2023年度募集要項

京都モンテッソーリ教師養成コースの2023年度募集要項ができました。

お知り合いの方々にご紹介ください。

また、宛先をお知らせいただければ直接郵送もいたします。ホームページでもお知らせしています。

予告

京都モンテッソーリ教師養成コース  
創立50周年記念 夏期講習会を開催します

基調講演:高橋和也氏 学校法人自由学園学園長

日 程:2023年 7月29日(土)・30日(日) 場 所:京都国際交流会館

☆久しぶりに皆で集い、語り合いましょう!

■2023年度 基礎コース日程表 (在籍者は、下記のどの会場でも、何回でも受講できます。)

(札幌:8/3~8/10)

会場 内容	福 岡 (若草保育園)	会場 内容	東 京 (聖パトリック幼稚園)	会場 内容	札 幌 (藤幼稚園)
感覚教育 I	4月 15日・16日	生活教育 I	4月 15日・16日	生活教育 I	8月 3日・ 4日
生活教育 I	5月 20日・21日	感覚教育 I	5月 20日・21日	感覚教育 I	8月 5日・ 6日
数 教 育 I	6月 17日・18日	言語教育 I	6月 17日・18日	言語教育 I	8月 7日・ 8日
言語教育 I	7月 1日・ 2日	数 教 育 I	7月 1日・ 2日	数 教 育 I	8月 9日・10日
感覚教育 II	9月 2日・ 3日	生活教育 II	9月 2日・ 3日	感覚教育 II	8月 3日・ 4日
生活教育 II	10月 21日・22日	感覚教育 II	10月 21日・22日	生活教育 II	8月 5日・ 6日
言語教育 II	11月 18日・19日	数 教 育 II	11月 18日・19日	数 教 育 II	8月 7日・ 8日
数 教 育 II	12月 2日・ 3日	言語教育 II	12月 2日・ 3日	言語教育 II	8月 9日・10日
土曜日 / 14:00~18:00 日曜日 / 9:00~16:00 (土・日)を1回として年8回				全日程 9:00~16:00	

◎第I課程は、幼稚園教諭・保育士資格のある方はどなたでも聴講できます。

※聴講料は、1日8,000円です。(基礎コース修了者及び、専門コース卒業生は、1日2,000円です。)

※聴講希望者は、事前に京都コース事務局まで電話またはFAXでお申込み下さい。